

中期ビジョン（5か年計画 令和3年度～7年度）

令和3年4月策定

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

本校は本荘由利地区唯一の工業高校として昭和37年に開校して以来、地域の企業や産業を支える工業技術者を輩出してきた。特に、県内企業への就職率の高さは、全県トップクラスを誇っている。ここ数年は、小学生を対象とした各学科の実験実習を体験する「ふれあい体験」や地域の保育園との交流、工業高校の特色を活かした各種奉仕活動が継続的に行われてきた。また、地域防災の拠点として地域合同の防災訓練の推進に貢献してきた。これらのことは地域の人たちから好意的に受けとめられている。しかし、学校評議員会や地元の方々からは、この5年間で取り組んできた教育活動について高い評価を受けながらも、本校の特色が十分理解されていないことや、情報発信の弱さを指摘されている。また、本校を進路希望先とする中学生が減少している現状を踏まえ、学校としての努力が求められている。

以上のことを踏まえ、これまでの教育活動の中で良いものは継続しながらさらなる充実を図り、その成果を広く情報発信するとともに、本校教育活動に理解を得ることが重要と考える。

2 学校を取り巻く将来の状況への対応

第七次秋田県高等学校総合整備計画にあるように、今後、由利本荘・にかほ地域でも中学校卒業生数の減少は避けられない。さらに、高校選択段階での普通科志向や、工業高校では入学時に将来の進路の大枠が決まると思われがちのため、本校に入学を希望する中学生が減少していると考えられる。

これらのことを考慮し、工業高校の特色を活かしながら質の高い教育活動を行うとともに、その魅力を地域の方々や中学生に理解してもらうための方策、情報発信に努める必要がある。

また、将来を見据えた人生設計を意識してキャリアガイダンスを充実させるとともに、基礎学力の向上と先端技術の習得等を通して、経済の動向に左右されない揺るぎない進路指導體制の構築が求められる。一方で、本校において工業に関する知識や技術を習得した生徒が進学を考える際、その希望が達成されるように、大学との連携をより一層強め、それぞれの進路希望実現に向けた指導が必要とされる。

3 目指す生徒像及び学校像

(1) 目指す生徒像

- ①心身ともに健全で豊かな人間性のある生徒
- ②地域社会に貢献するとともに、みずからその発展に寄与しようとする高い志を持つ生徒
- ③専門分野の基礎的技術・技能を習得し、実践と創造を重んじ工業界の発展に寄与しようとする意欲のある生徒

(2) 目指す学校像

- ①ICTを活用した座学、実習を中心としたものづくり、より深い学びを実現する課題研究（探究活動）、基礎学力の向上対策等を通じて、「確かな学力と高い志を育てる教育の充実」に力を注ぐ学校
- ②地域のさまざまな団体との連携・協働を模索し、工業高校らしい地域貢献を積極的に行うことで「地域に根ざしたキャリア教育の充実」を図る学校
- ③進路において、第一志望への高い就職率を維持すると同時に、それぞれの科の特徴を生かした就職、または大学進学が可能な学校

4 5年間で達成を目指す具体的目標

(1) 地域貢献に資する人材を育成する。

- ①工業高校の特色を活かした地域貢献活動をさらに充実させる。

- ②地域資源との連携・協働を深める（近隣保育園、小中学生との交流、地元大学・地域企業との連携）。
- ③地域の防災拠点としての役割を果たす。
- (2) 各科の特色を活かしながら、4科合同で取り組む学びを導入する。
 - ①課題研究の充実、科を超えた探究活動の模索
 - ②先端技術の習得や新しい技術の導入
 - ③航空機専門カリキュラムの充実
- (3) 就職と進学（工学部系）の両方の進路選択が可能な工業高校を目指す。
 - ①就職試験での内定率100%及び県内就職率70%以上を目指す。
 - ②進学希望者の第一志望合格率100%を目指す。
- (4) 部活動の充実・発展
 - ①部活動を通して、自律と向上心をもつ生徒の育成に努める。
 - ②生徒の部活動加入率75%以上を目指す。

具体的な取組

1 「由エスタンダード」の励行

- (1) 「生活版」・・・挨拶励行・時間の有効活用・自己管理
- (2) 「技能編」・・・一つ一つ確実に技術・技能を身に付けた確かな技能者の育成
- (3) 「資格編」・・・科の特性を踏まえた各種資格の取得
由エスタンダードの励行を本校の教育活動の大きな柱とし、社会に出るに当たって必要とされる基本的な生活習慣や礼法及び専門的な技術・資格を身に付けさせる。

2 学力向上とキャリアガイダンス(進路学習)の重視

- (1) 授業改善への取り組み。ICTを活用した協働学習、課題研究の充実。
- (2) 朝学習や基礎力診断テストを活用し基礎学力を高める。
- (3) 総合的探究学習を活用した進路学習や学年ごとの工場見学、企業研究、先輩講話等のキャリア学習の充実を図る。
- (4) 工業科の特色を活かしたインターンシップや技術研修を積極的に行うとともに、工業技術懇話会等地域企業とのネットワークの強化に努める。
- (5) 進学希望者のための系統的・組織的な補習や講座や個人指導の充実
- (6) 秋田県立大学及び秋田大学との連携強化、オープンキャンパスへの参加

3 地域貢献・連携・協働

- (1) 工業高校の特色を生かした地域貢献
 - ・親子ふれあい体験学習
 - ・技術ボランティア、木工作品寄贈等
- (2) 地域協働・社会貢献の意識を持った地域貢献活動
 - ・地域合同避難訓練
 - ・石脇西保育園との連携
 - ・地域貢献部の活動
 - ・近隣小学校との協働、由利高原鉄道や木のおもちゃ美術館との連携
 - ・その他
 - ・課題研究での地域課題の解決や探究的な学びを実現する取り組み
- (3) 地元中学との連携を強め生徒理解・学習指導・進路指導のなめらかな接続を目指す。

4 生徒会活動・部活動の充実

- (1) 生徒会行事・部活動を通じて全人教育を目指すとともに、自律を達成するための委員会活動の活性化
- (2) ものづくり大会・コンテスト、各種競技会への積極的な挑戦

「校訓」、「教育目標」と具体的な取組

